

令和3年度第1回総合教育会議議事録

(要 旨)

開催日 令和4年1月27日（木）13：30～15：00

開催場所 名寄市役所名寄庁舎 大会議室

出席者 市長 加藤 剛 士
教育長 小野 藤 浩 一
職務代理 松田 潤 子
委員 高橋 雅 樹
委員 中枝 範 子
委員 梅野 新

事務局職員 総合政策部長 石橋 毅
総合政策課長 室 秀 樹
スポーツ・合宿推進課主幹 池田 俊 一
教育部長 木村 睦
学校教育課長 荒井 昭 典
参事（特命課題担当） 土井 涉
参事（指導主事） 小野 直 久
参事（風連生涯学習） 小笠原 弘
学校教育課総務係長 石倉 あゆ美

傍聴者 2名

議 事 (1) 名寄市総合教育会議設置要綱の改正について
(2) 体育施設管理運営について
(3) 市内新設高等学校魅力化支援について
(4) その他

会議録（要旨）

進行：木村部長

- 1 開 会 午後 1 時 3 0 分
- 2 市長挨拶
- 3 議 事

※設置要綱第 4 条の規定により市長が議長を務める。

(1) 名寄市総合教育会議設置要綱の改正について

〔学校教育課長〕

これまで、総務部企画課が総合教育会議の庶務を担うこととなっていたが、名寄市長の権限移譲に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の教育委員会に補助執行させる事務として「名寄市総合教育会議に関すること」が謳われていることから、要綱第 9 条の事務局を教育委員会教育部学校教育課に改正するものである。

〔議 長〕意見はないか。

(委 員) なし

————— 異議なく承認 —————

(2) 体育施設管理運営について

〔スポーツ・合宿推進課主幹〕

体育施設管理については、これまで所管部署が区分されており、また名寄地区・風連地区においても異なる管理状態となっている。そのため、今後本事業の更なる振興による地方創生を目指すため、スポーツ施策と体育施設管理の一元化による効率化及び相乗効果による効果を拡大させていく必要があることから、名寄市体育施設の管理に係る関係条例の一部改正を行い、より効果的かつ効率的な市民サービスの向上による施設利用者・スポーツ参加者の増加を目指し、本市の自然と施設環境の強みを活かしたスポーツによるまちづくりを更に推進していくものと考えているもの。

〔議 長〕意見はないか。

(委 員)

条例が改正されることに伴い、市民がスポーツセンターの利用の際に変更される手続きはあるか？

(事務局)

手続きなどはこれまで通りとなる。

(委員)

Nスポの事業における青少年教育・人材育成に関連して、部活動に関して。少子化が進むことで、部活動の運営も変化していくと考えるが、地域部活動への名寄市の状況についてお聞きしたい。

(事務局)

現在、部活動に関して地域の把握、他市町村の動向を聞き取りしながら、名寄市としての方向性を考えている段階。

(委員)

実際に地域部活動を実施している自治体はあるのか？

(事務局)

実施している自治体はあり、聞き取った内容を活かして名寄に合ったスタイルを作っていきたいと考えている。

(委員)

Nスポーツコミッション全体の運営には非常に期待している。ここに市民の声が届く環境はあるのか？

(事務局)

市は事務局として関わっている。市以外は各団体の方で構成された組織。基本は市民の皆さんからの声を反映させた組織となっているのでご理解いただきたい。

(委員)

Nスポの「N」に込められたナビゲーションについて。名寄のスポーツのナビゲーションをもっと発掘していったらどうか？

(事務局)

Nスポ立ち上げから3年。まさに地域のスポーツトレーナーやスポーツツーリズムガイドの出来る人が必要だとNスポ会議でも議題になっている。アスリートのセカンドキャリアとして担い手を探すなど。今後も検討していきたい。

[議長]他に意見はないか。

————— 異議なく承認 —————

(3) 市内新設高等学校魅力化支援について

[教育部参事(特命課題担当)]

名寄市においては、両高等学校の統合にあたり、地域から魅力ある高等学校として認められるよう令和2年8月に「名寄市内高等学校魅力化推進委員会」を設置している。今年度においては、魅力化推進委員会に「コーディネーター」を配置し、また両高校のPTA役員、学校評議員の方々にも魅力化推進委員会へ参画いただき、将来の新設校のコミュニティスクールの母体となるよう組織力を強化したところである。また、新設校づくりを進めていく上で、学校と地域の連携・協働が必要であることから、両高校の先生方で構成される統合推進委員会において、両高校の生徒及び魅力化推進委員会との合同拡大会議が企画され、今年度4回の会議を重ねてきた。魅力ある高校は、まちづくりを進める上で大きな原動力となることから、名寄市としてもできることをしっかりバツ

クアップし、コミットしていきたい。

〔議長〕意見はないか。

(委員)

新設校の設置に向け、魅力化推進委員会や合同拡大会議の協議内容が反映されるのか？

(事務局)

新設校の様々な事項は道教委が決定する。しかし、統合推進委員会から道教委に意見を提案することから、統合推進委員会が合同拡大会議を開催し、市や市民の意見を聞き取ったものと捉えている。今後も統合推進委員会と連携し、公表できることは速やかに周知に努めたい。

(委員)

保護者の考え方も多様化している。進学を考えると「国公立大学コースを設定する」ことも必要かと思うし、就職への対応として「地元で就職が出来るような対応」も必要と思う。「進学も就職も強い、新設校」となるよう考えていただければ。

(委員)

高校にもコミュニティスクールは必要と考える。地域と高校が連携できる環境として、コミュニティスクールがあればよりよい高校になるものと考えている。

(事務局)

統合推進委員会へ伝えていきたい。

(委員)

地方からの声で、名寄高校へ行きたくても下宿が無いため、下宿のある市町村へ進学を選択する子がいると聞く。何かアピールポイントが無いと生徒は集まらないと思う。

(事務局)

市としても検討していきたい。

(4) その他

(委員)

市内の小中学校特別支援教育支援員の給与等の処遇改善は出来ないものか。

(事務局)

他市町村と比較しても人数・処遇ともに名寄市は非常に努力しており、ご理解いただきたい。

(委員)

名寄高校から名寄大学への推薦者枠を拡大確保できないものか。

(事務局)

大学事務局へ意見があったことを伝えておく。